

茅ヶ崎の NPO と市民活動を支援する情報紙











△ユースボランティア茅ヶ崎 2022 オリエンテーション風景△ 〜会場設営・受付は、高校生ボランティアが大活躍〜

CONTENTS

- ・9月・10月これからの予定第4回 SDGs カフェこどたん+2023キックオフ交流会NPO 講座「スマホで HP 制作」
- ・[特集] 市民活動アンケート報告
- ・「さぽちゃんが行く!」 ほのぼのビーチ茅ヶ崎
- ・IT スキルアップミニ講座3
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



「茅ヶ崎の夏はやっぱりアロハだね♪」 サポセンキャラクターの「さぽちゃん」 も衣替え。編みぐるみ本体はもちろん、赤いアロハシャツやビーチサンダ ルはすべてスタッフの手仕事!カウボ ーイハットは本場テキサス土産です。 季節ごとの装いにも注目してみてね。

■ 注 目 🕽

"予約なし"で利用できます!











新たな利用ルールについて(2022.6 月現在)

- ▶原則予約なしで利用できます。但し、館内が混雑している時は、お互いにゆずりあい、利用者の皆さんが、 気持ちよくご利用できるようお願いします。
- ▶大勢のメンバーで集まる時や大量の印刷をしたい場合は、なるべく前日までの予約がオススメ!

《引き続きのお願い》

お一人お一人が感染防止対策を 講じたうえでご利用ください

- ①入口での手指消毒
- ②マスク着用
- ③利用チェックシートの記入

※コロナの感染拡大状況により利用法が変更になる場合がありますので、最新情報はサポセン HP でご確認ください

もっと知りたい!サポセンのこと

~市民活動応援プログラム~ これからの予定(9月・10月のイベント)



■開催案内

第4回 SDGs カフェ 離もが生き生きと暮らせる地域を創る ペユニバーサルデザインの考え方と実践から~

SDGs の最終目標である「誰一人取り残さない」インクルーシブな社会の実現に向けて、 私たちひとりひとりができることを参加者全員で考えます。

◆日時:**9 月 10 日(土)14:00~17:00** ◆場所:ちがさきサポセン

◆ゲストスピーカー:

関根 千佳さん(同志社大学客員教授、㈱ユーディット会長兼シニアフェロー) 荒井 佑介さん(NPO 法人サンカクシャ 代表理事)

◆対象:市民活動団体、自治体・社会福祉法人職員、事業者の方、SDGs に関心がある方

◆定員:30名(8月1日より受付開始~31日まで、先着順。手話通訳・要約筆記・託児希望の方は 8/24 までに申込)

◆参加費:無料



SDGsカフ

▲甲込はこち

■開催案内

こどたん+(プラス) 2023

イベントをつくる みんながつながる 「キックオフ交流会」(企画募集説明会)

体験型多世代交流イベント「こ**どたん+(プラス)**」は、参加した人たちが「ちがさきを知る、みんなでつながる、 新しいことにチャレンジする」キッカケづくりの場。

今年度は、2023年3月6日(月)~3月26日(日)のオンライン開催+プラス(!)3年ぶりの対面開催@サポセンを目指して準備中。みんなで一緒に、楽しい!面白い!カッコイイ!彩り豊かな市民活動の魅力を届けましょう。

◆日時: **10** 月 **14** 日(金) 18:30~20:00 (Zoom) **10** 月 **15** 日(土) 10:00~11:30 (サポセンにて対面)

◆対象:市民活動団体、自治会等の地縁団体、学校、行政、 地域づくりや社会貢献に関心のある事業者・グループ・個人など

◆内容:「こどたん+2022 オンライン」をふりかえる、募集内容の説明、 参加者同士の交流~コラボ企画のアイデアが生まれるかも...♪





2022 アーカイブ▲

※申込方法など詳細はサポセン HP、9 月下旬発行のニューズレター等でお知らせ予定

■開催案内

NPO 講座 I 市民活動団体のためのホームページ制作 ミニ講座(2回連続講座) 「スマホの無料アプリでホームページを作ろう!! 運用も簡単!」

活動の発信は SNS のみで HP がない、団体 HP はあるが古いスタイルで更新されていない等、独自で運用可能なHP をつくりたい団体向け。パソコンがなくてもスマホだけで簡単に HP が作れます!

◆日 時: 第1回 **10**月 **22**日(土) 13:30~17:00

第2回 10月29日(土)13:30~17:00

◆場 所: ちがさきサポセン フリースペース大

◆講 師: 四條 邦夫さん、村田 久美子さん(NPO 法人セカンドワーク協会)

◆内 容: HP 公開の意義・ツール(JIMDO)説明・HP 制作の楽しさ・発信内容検討・HP 作成・講評&アドバイス

◆対 象: 市民活動団体、ボランティア活動・市民活動に参加中、あるいは興味のある個人の方で、SNS (Facebook、 Instagram) の投稿経験のある方、投稿経験はなくてもチャレンジしてみたい方も OK!

◆定 員: **8団体**(1団体2名まで、10月1日(土)より先着順)

◆参加費: 500円(資料代として)

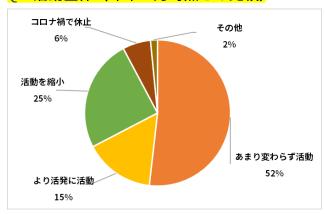
◆持ち物: スマートフォン (iPhone または Android) 、筆記用具など(詳細は、追ってお知らせします)

【特集】「2022 市民活動団体 活動調査アンケート」集計結果

現在の活動状況や必要とする支援について、データベース登録 322 団体にアンケート調査を行いました。 開設 20 周年となるサポセンへの温かいメッセージもたくさんいただきました。今後の施設運営や市民活動の 支援・推進事業に役立ててまいります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

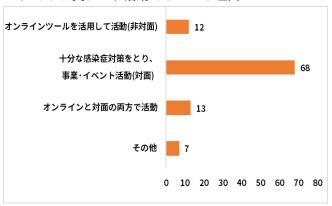
調査期間:5/25~6/30 回答数:194 団体(法人34、任意団体160) 回答率:60%

Q1 活動全体(昨年5月時点との比較)



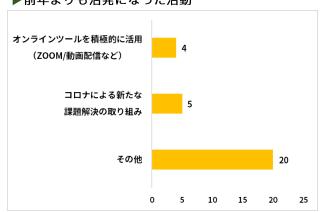
【その他】徐々に活動再開している、コロナで低調な中での同水準、 参加者は減少しているが日々活動

▶あまり変わらず活動できている理由



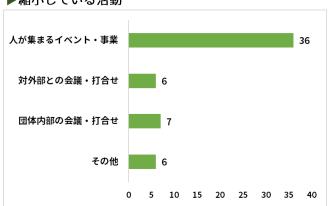
【その他】屋外(野外)の活動、対面・対話を大切にしている

▶前年よりも活発になった活動



【その他】コロナの自粛が一部緩和したので活動が回復し始めている、参集しての会議や活動が再開した、人数制限を撤廃、利用を控えていた利用者が戻ってきた、参加していた地域活動が復活、新たな活動テーマ(生物調査)を決め年間計画を策定、(公演)活動の準備、団体活動(発達に困難な子どもへの支援)に関心を持つ人が増えている、他団体で勉強中

▶縮小している活動

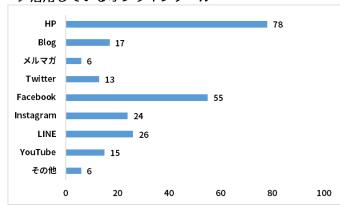


【その他】高齢化で学習会参加者が減少、コロナで活動先のボラン ティア受入が中止になった、(活動場所の)店舗をひとつ閉店

02 団体の広報

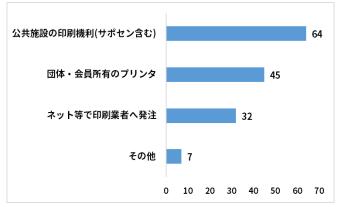
おもな発信媒体は、オンラインと紙媒体の両方(37.7%)、紙媒体(31.7%)、オンライン(30.6%)でした。

▶活用しているオンラインツール



【その他】個別のメール、市や関連機関 HP に掲載

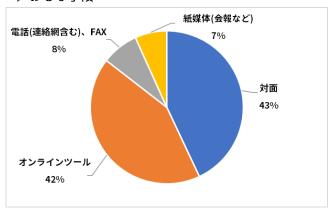
▶チラシ・広報誌・パンフレットの印刷方法



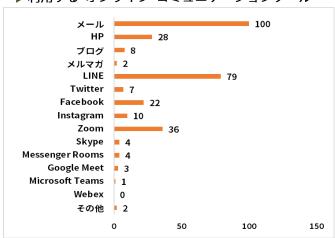
【その他】コンビニ、関連機関で印刷してもらう

03 団体内の情報共有&コミュニケーション

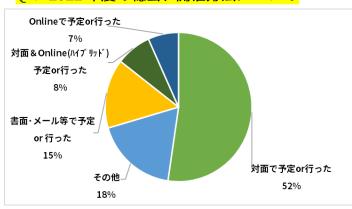
▶おもな手段



▶利用する"オンライン"コミュニケーションツール



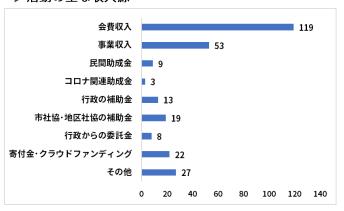
04 2022 年度の総会、開催方法について



【その他】コロナの状況次第で未定、総会は行わない

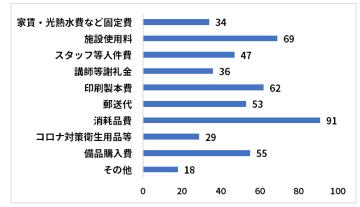
05 2022 年度の活動資金について

▶活動の主な収入源



【その他】会費は集めていない、繰越金、自己資金、カンパ

▶2022 年度のおもな支出費目



【その他】サーバーレンタル費、業務委託料、イベントに係る諸経 費、保険料、特になし

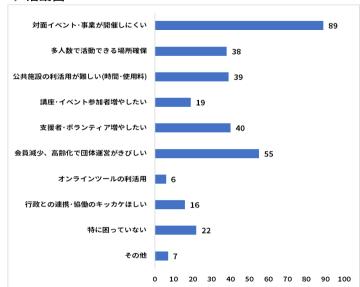
06 現在の困りごと

▶資金面



【その他】活動資金の不足、家賃の支払い、建物・資機材の修繕費、 会場使用料が高い

▶活動面

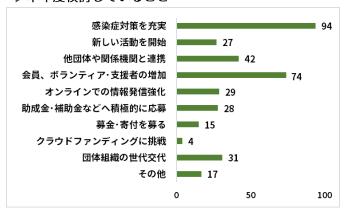


【その他】働き手不足、人数制限、マスク使用での活動、(公共施設の) 客席使用率が不透明、行政の対応、行政の施策の変化が見えない、な かなか人が増えないが少しずつ理解者の声は聴けている、活動停止中

活動上の困りごとは、コロナ禍での対面活動(45.8%)、高齢化や会員減少(28.4%)ほか、公共施設はじめ活動場所の確保に課題を感じている団体が多くありました。

07 団体の今後について

▶本年度検討していること



▶団体が必要と考える、サポセンに期待する支援

(優先順位 1~3 を該当項目に記入)

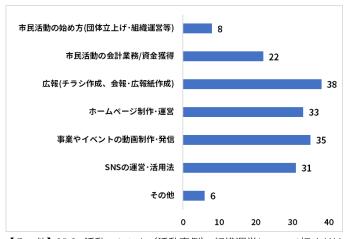


今後の活動については、感染症対策をしっかりしながら、会員・ボランティア増(38.1%)、他団体や関係機関との連携(21.6%)への意欲を持ちつつ、世代交代を検討するとの回答も15.9%ありました。そのためにも、サポセンには、交流の場づくり(28.8%)、募集のサポート(27.3%)、他団体や関係機関との橋渡し(26.8%)等の支援が期待されています。

*具体的には、ボランティアしたい市民と団体とのマッチング交流 会、同じような活動をしている人たちとの雑談会、若者世代や事 業型 NPO を対象とした対面交流の機会等、希望の声あり

08 サポセン事業について

▶NPO 講座(年4回)で参加したいと思う内容



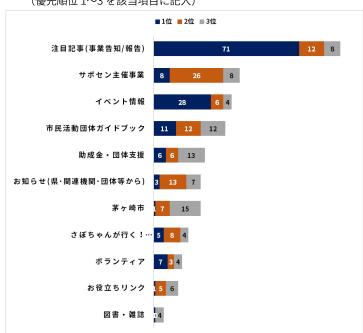
【その他】SDGs 活動のヒント(活動事例)、組織運営について初めだけではなく行き詰ったときの相談会

▶IT スキルアップミニ講座(年6回)で参加したい内容



▶サポセン HP でよく閲覧するページ

(優先順位 1~3 を該当項目に記入)



NPO 講座に関しては、チラシや動画作成、ホームページ・SNS 活用など「広報」に関するスキルアップ支援を求める声が多くありました。

ホームページに関しては、サポセン主催事業や市民活動のイベント情報がよく見られているようです。

団体主催のイベント等、ぜひ情報をお寄せください!

「市民活動団体ガイドブック」最新版や毎号ニューズレターで紹介している団体紹介記事「さぽちゃんが行く!(NPO追っかけレポート)」バックナンバーなども、連携・協働のきっかけ情報としてご活用いただけると幸いです。

コロナ禍で急速に普及したオンラインツールですが、対面でのコミュニケーションの良さも見直されてきています。今回のアンケートでは、オンライン支援を中心にお聞きしましたが、サポセン館内での情報掲示や図書貸出、直接のご相談対応など、これからも、デジタル、アナログ両側面で支援の取り組みを進めてまいります。

09 ご提案やご意見

▶行政のご提案・ご意見 *市民自治推進課を通して市に伝えます

活動への助成、場所の確保、学校との連携、市の制度や施策への意見、行政職員の対応についての改善要望などがありました。

▶サポセンへのご提案・ご意見 *-部抜粋してご紹介

以前のように、利用制限なく自由に使え るサポセンに早く戻ってほしいとの要望 他、たくさんの労いと励ましのお言葉をい ただきました。感謝申し上げます!



●コロナ前のような使い方を希望

- ・早く以前のように何気なく立ち寄り、情報収集をしたり、 話ができるように望みます。
- ・早くコロナが収束して気軽に会場(以前のような会場)が 使えるようお願いします。

●機材の充実とスタッフの対応は今のままで

- ・場所の提供と印刷機が多種でとても助かっています。数少 ないコピーのものなどすごく助かっている。嬉しいです。
- ・今まで通り、イベント掲載やチラシ掲示にご協力くだされ ば助かります。企画開催時に(準備等で)施設を利用できる とうれしいです。
- ・何かをしていただきたい、というよりは、私たちが困って いるときにちょっと助けていただけていて、本当に助かって います(印刷機を一定時間気軽に使えたり、マイクやプロジ ェクターなど手元にない設備をお借りできたり。そういうこ とがとても助かります)
- ・活動をしていて困った時、いつも親身に相談にのっていた だき心強いです。

●もっとこんな支援があったら

- ・スタッフの皆さんの親切なサポートのおかげでいつも気持 ちよく使わせて頂き、感謝しています。便利な機器や用具も 揃っていて助かっていますが、シュレッダーがあると助かり ます。(コロナ対策でのお名前や連絡先を預かることが多く なりました。その他の個人情報についても破棄する時に)
- ・アンケート用紙の文字は目が悪いものにとって、とても読 みづらいです。黒にして頂けるとありがたいです。
- ・高齢者の視点も忘れないでほしい。
- ・サポセンのイベントや講座は、毎月の定例会で会員に紹介 していますが、会員の年齢層が高いので、なかなか参加した いと思うイベントがないようです。高齢者も参加してみたく なるイベントを年に何回か企画いただけると、サポセンに足 を運ぶきっかけになるかと思います。
- ・大学生・高校生のボランティアに興味がある方々と繋がり たいです。お若い方々のお力を借りながら、市民活動を活性 化し、当団体の経験も次世代に伝えたいです。
- ・現状、体験コーナーを設けられるお祭りやイベントの開催 が皆無です。一日も早くリアルの「こどたん(ワイワイまつ り)」がまた開かれることを期待しています。
- ・同じような立場の方がいたら活動を繋げていくきっかけづ くりをサポートして欲しいと思っています。
- ・さぽちゃんにぜひ当団体のレポートをしてほしい。

Q10 サポセン開設 20 周年を迎えて、思い出や今後の施設運営への希望、スタッフへの意見など

●開設当時から大変お世話になりました

・職員の方々の対応が親切で有難い事です。当初は慣れない 機器の使い方を手を取り教えて頂いたり長時間場所を使わ せてくださり活動の助けとなり感謝です。横文字、カタカナ 語が増しデジタル化され進歩を続ける世の中になり歩調を ともにするのは困難かもしれませんが出来ることで頑張り たいと思います。

●団体立ち上げ時のサポートへ感謝

- ・サロン開設に際してのアドバイスやげんき基金の申請につ いてご助言を戴きましたことを感謝申し上げます。活動をす る中でサポセンの存在は支えとなっています。
- ・勇気を出して、お伺いした日を忘れません。あんなに親身 になって聞いてくださらなければ、きっとすぐやめていたと 思います。様々な考えや想いをもっていて良いと改めて気づ けた日でもあります。

●サポセンに行くと楽しい

- ・サポセンに行くと何となく楽しい。きっと行くだけで様々 なアイデアをいただけるからだと思います。
- ・サポセンを訪問するたびに若い方々の様々な活動の広報紙 の多いことに驚かされます。サポセンが出来て良かったと思
- ・昨年はチラシ作成に関して沢山のヒントやアドバイスをい ただきとても助かりました。お陰様で会員、利用者拡大に効 果が出ています。
- ・卒業文集の制作の際は、毎年大変お世話になっています。 子供たちは、直ぐには実感しませんが、貴重な思い出になっ ているようです。

●市民活動の要の場所

- ・スタッフの方々も親しみやすい対応で安心して相談できる ので茅ヶ崎市内の施設として自慢できる場だと思います。も っとスペースが広がって喫茶コーナー(給湯室の利用)の再開 など、もっともっと全市民が利用できるフリースペースにな っていったらいいなとも思います。
- ・会議場所、印刷作業等、活動にサポセンは無くてはならな い場所で地域にこういう拠点があることが各団体を活性化 させて下さっているんだと感謝しています。
- ・駐車場があり、コピー機やオンラインツールなどの設備が 整っているので、会議の場として大変利用しやすいです。
- ・必要な時にいつでも使える会議場があるのは心強いです。
- ・印刷機の使用方法など、丁寧にご指導頂き感謝しています。
- ・夜間に打合せをすることが多く、サポセンはいつも夜遅く まで開いているので、助かっています。
- ・いつも温かく見守って下さりありがとうございます。サポ センは私たちの安心できる場です。
- ・市民活動を縁の下で支えている皆様に心から感謝と敬意を お伝えしたいです。20年間ご苦労様でした。そして、これか ら行政の支援が益々希薄になる中、より頼られる存在になっ ていくでしょう。よろしくお願い致します。

●イベントの思い出~人と人とがつながる機会

- たくさんのチャンスやご縁をいただきました。
- ・まつりはスタンプラリーなども含め市民(お子さまを含め) の皆さまと直接触れ合える貴重な機会でもありました。
- ・こどたん 2020 オンラインイベントではとてもお世話にな りました。集客が少なかったことは残念でしたが、サポセン スタッフ、ボランティア学生とのつながりを持てたことが 大変有意義でした。動画やオンラインワークショップの制作 にチャレンジできたことも大きな経験になりました。

20年のご利用ありがとうございます。持続可能な社会の実 現に向けて、サポセンはこれからも皆さんとともに、未来 のまちづくりに取り組んでいきます。







ほのぼのビーチ茅ヶ崎

誰もがみんな平等に、安心して利用できるきれいな海岸を残していくために、海岸美化の意識啓蒙活動、海岸の安全と利用形態の模索、各団体とのネットワーク化、公開勉強会や夏に開催するイベントの企画・運営などさまざまな事業を行っています。(正会員 45 名)

《代表の石川真紀さん他にお話をうかがいました》

基本は毎月のビーチクリーン

6月5日朝9時、茅ヶ崎海岸、梅雨入り前のさわやかな日差しの下、ほのぼのビーチ茅ヶ崎(以下「ほのぼの」と略します)主催のビーチクリーンに伺いました。サザンビーチから東へ1キロ半ほどのヘッドランドビーチで、毎月第1日曜日に1時間ほど砂浜の美化活動を行っており、この日は子どもたちを含め40名ほどが参加、主催側が改めて挨拶や号令を掛けるでもなく、皆さん順次自主的に作業を始めていました。ステンレスのざるで砂をすくい、ふるうと色とりどりのマイクロプラスチックなどが残るという作業で、幼児でも砂遊び感覚で取り組めます。でも、一見可愛らしいプラも、大半は河川から漂着したものと聞くと、海洋の環境汚染の進行を実感できます。

活動は「サーフ'90」から連綿と

1990(平成2)年に相模湾沿岸の官民共同で開催された海に関する総合イベント「サーフ'90」がきっかけで、その終了後も茅ヶ崎の青年会議所の有志で、海岸のごみを片付けて音楽フェスなどを毎年続けるようになり、「気がつけば、もう30年以上」と当時から関わる大坊会長。多年にわたり海岸の環境美化に貢献したとして、2019(令和元)年には国土交通省大臣表彰を受けたほどです。

設立の経緯や活動の歴史が長いことから、ほのぼの は海に関わる団体や民間企業との結び付きが強いのも 特長です。実際に前述のビーチクリーンにも、トヨタモ ビリティ神奈川、三菱 UFJ 銀行や住宅設備メーカーの 方々が、自発的に連れ立って大勢参加していました。

愛する海をあらゆる側面から

茅ヶ崎の海浜をこよなく愛するほのぼのの皆さんだからこそ、長年にわたりあらゆる側面から「財産」を後世まで残すために取り組んでいます。



←昨年ヘッド ランドビーナ で行ったマイ クロプラスチ ック回収実験 プロジェクト まず、海岸侵食対策。毎回専門家を呼び「なぎさシンポジウム」を開催、大々的な署名活動も展開。人工物の投入によらない自然に近い形での対策を広く訴えてきた結果、県と沿岸の市町が対策協議会を設立、現在は野球場付近のエリアで、相模川上流の土砂を搬入した養浜工事が行われ、砂浜復活の好事例となっています。

また、近年深刻な環境問題となっている海洋プラスチック汚染に関しては、昨年大掛かりなマイクロプラの回収実験プロジェクトを砂浜で敢行。地元の建設会社、亀井工業の方々がショベルカーやブルドーザーを出動してくれたので、大いに作業がはかどりました。

最近では、国道 134 号線の海岸側歩道が狭く通行に 危険を伴うことについて検証。県と国に要望を提出す る準備を進めています。

コロナ禍という大波を乗り越えて

そして、一大 イベント「ほの ぼのビーチフェ スティバル」。 コロナ禍以降、 海の行事は浜降 祭も花火大会も 中止となる中、



↑ほのぼのビーチフェスティバル 2017

今夏3年ぶりに開催することになりました(文末案内参照)。参加者に快適で安全な浜辺とは何かをイベントを楽しみながら考えてもらおうというもので、多くの地元の企業が協賛・協力しています。

「私達は海の子。茅ヶ崎の浜辺の素晴らしさを百年 先の子ども達に残したい」と石川さん。市社協とサポセ ンが毎年夏に募集するユースボランティアもいつも率 先して受け入れてもらっています。それも、1人でも多 くの若い人に海に関心を持ってほしいから。最近では、 茅ヶ崎へ移住した方がメンバーに加わったとか。今月 からホームページも一新、ほのぼのの皆さんの海への 熱い思いが世代を超えて受け継がれていきますよう。

ほのぼのビーチフェスティバル 2022 (入場無料、詳しくは団体HPを)

日時:7月31日(日)9時半~17時 会場:茅ヶ崎ヘッドランドビーチ 催し物:コンサート、ビーサン跳ばし、

飲食コーナー他多数



お知らせ

■ IT スキルアップミニ講座3 「Word でチラシづくり(中級レベル)」対面講座

思わず手に取る!目を引く! 紙面づくりのコツを学びましょう 🦽

◇日時:8月30日(火)13:30~17:00

◇場所:ちがさきサポセン(フリースペース大)

◇講師:澤本 豊治さん(NPO 法人パソコンボランティア湘南)

◇内容:画像挿入と便利な編集機能

◇参加費:500円(資料代)

◇定員:10名(要申込・先着順/1団体2名まで)

◇対象:NPO 団体等で広報や報告書などを担当する方

◇持ち物:筆記用具、ノート PC

※OS:Windows10·11、OfficeWord2016以上 ※デスクトップ PC の方は、サポセンの貸出 PC が

利用可能(要申込/先着2名まで) スマホ・タブレットでの参加は不可

お申込はコチラ▶

■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談

できます。(無料、各回定員4名)

開催日:第2・第4月曜日

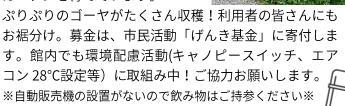
1)13:00~14:00

214:30~15:30

※お申込みは直接 NPO 法人パソボラ湘南へ▲

■ 今年の夏も省エネ!

西側の壁面にゴーヤの緑の カーテンを育てています。



■ 個人情報の取り扱いにはご注意を!

市民活動団体が活動する上で名簿など個人情報を処分 する際に"シュレッダー"をご利用いただけます。

▷料金:45 ぱゴミ袋1枚分50円

▷利用法:①窓口で「シュレッダー利用」と申込み

②45 %の透明ゴミ袋を受け取り(支払)

③自身で作業⇒透明ゴミ袋を取り出し終了

シュレッダーした後の透明ゴミ袋は持ち帰りで お願いします。

■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」 コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷8/1 号: NPO 法人パソコンボランティア湘南

▷9/1号:柳谷の自然に学ぶ会

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	<u>13</u>	14
15	16	17)	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- ・8/20 PM SDGs ネットワーク事業
- ·8/30 PM IT スキルアップミニ講座3

9月

月	火	水	木	金	±	日
			1	2	3	4
5	6	7 14 21 28	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21)	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

・9/10PM SDGs カフェ 4

10月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- ·10/14NT&15AM こどたん+キックオフ
- ·10/22&29PM NPO 講座 HP 制作
- ·10/25 PM IT スキルアップミニ講座 4

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、上記以外でも フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30~21:30 (休館日:毎月第3水曜日、年末年始(12/28~1/3)

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連 絡 先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX:0467-88-7546

E-mail: s-center@pluto.plala.or.jp URL: https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき

(指定管理期間:2021年4月1日~2026年3月31日)



サポセンキャラクター

"さぽちゃん"

